

第 51 期 事 業 報 告 書

(平成13年 9月21日から)
(平成14年 9月20日まで)

『しあわせ株式会社』をめざして



株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援ご厚情を賜り厚くお礼申しあげます。

このほど当社第51期（平成13年9月21日から平成14年9月20日まで）における会社状況につきまして、ここに事業報告書としてご報告申しあげます。

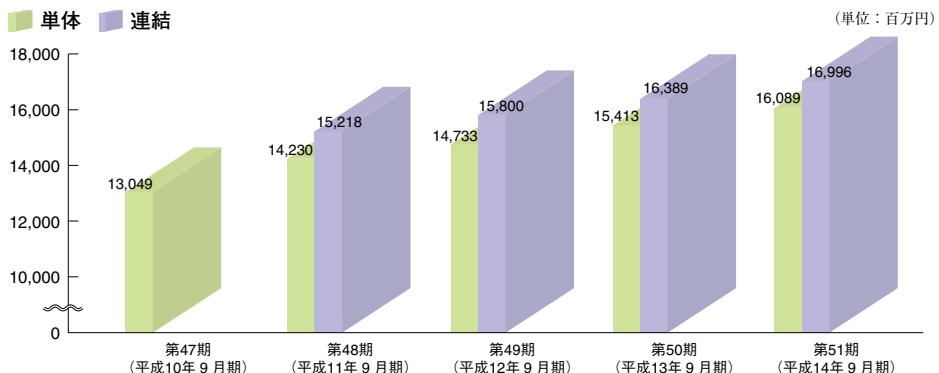
今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成14年12月

代表取締役社長 下 村 鉢 爾

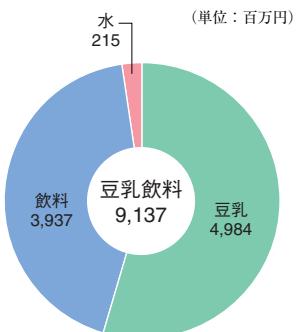
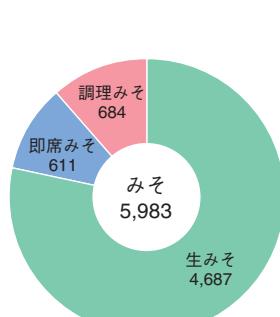
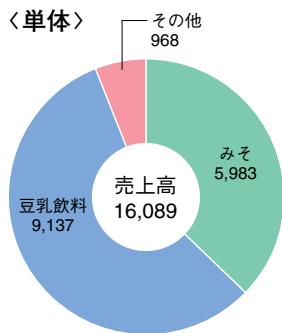
業績の推移

● 売上高の推移

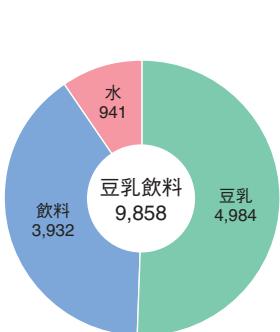
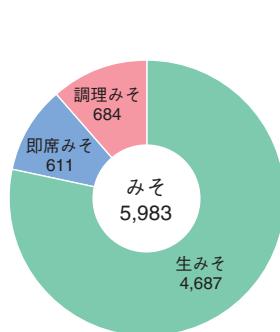
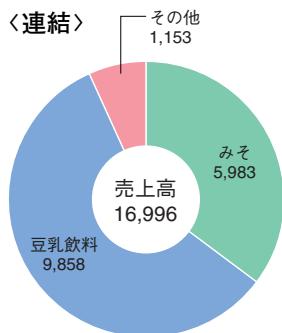


● 第51期（平成14年9月期）事業区分別売上構成、商品区分別売上構成

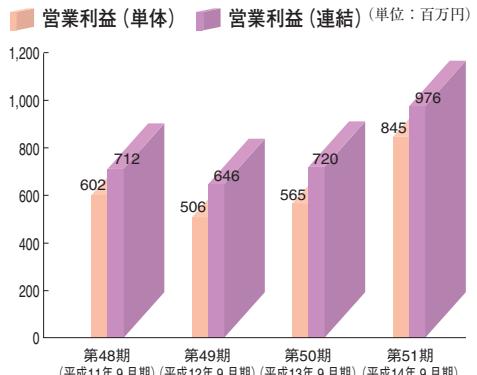
〈単体〉



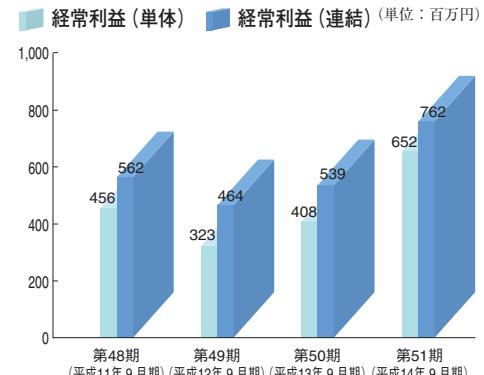
〈連結〉



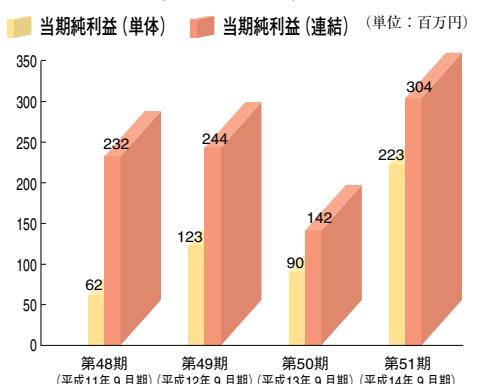
● 営業利益（単体・連結）



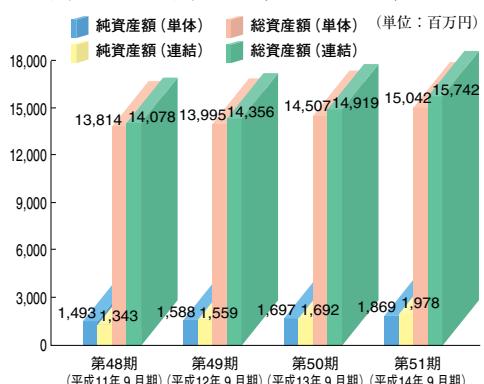
● 経常利益（単体・連結）



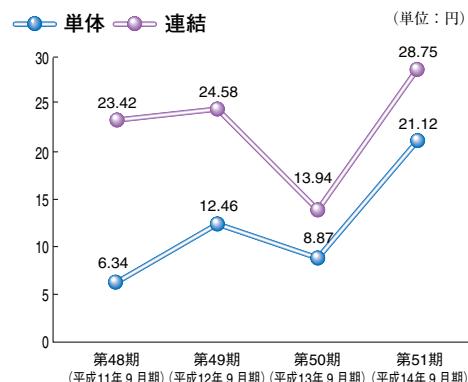
● 当期純利益（単体・連結）



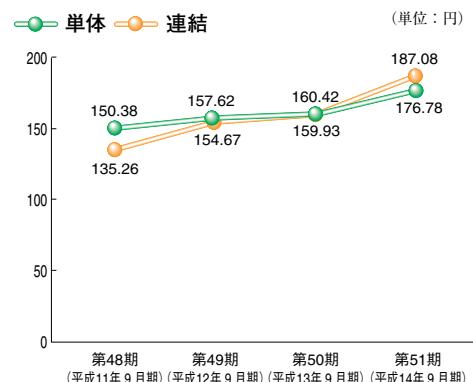
● 純資産額／総資産額（単体・連結）



● 1株当たり当期純利益（単体・連結）



● 1株当たり純資産額（単体・連結）



営業の概況

1. 営業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、一部の経済指標に改善の兆しが見られたものの、デフレ傾向が続いており、雇用や所得環境の悪化により個人消費の低迷が続くなど、大変厳しい状況で推移してまいりました。

食品業界におきましては、昨年のBSE（牛海绵状脳症）問題や、食肉の産地偽装表示事件などを始めとして、多くの食品表示違反事件が問題となった他、輸入野菜の残留農薬問題、無認可添加物の香料への使用問題等、消費者の食品に対する信頼が大きく失われており、大変重大かつ深刻な問題となっております。

みそ業界におきましては、生産・出荷数量の減少に加え、ここ数年来の傾向である低価格化がさらに進み、みそ業界全体として厳しい状況が続いております。

豆乳業界におきましては、ここ数年来の好調さに加え、BSE問題等の影響からか豆乳への需要が伸びており、豆乳市場全体の拡大が続いております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めると共に、積極的な新製品の開発、安全・衛生・品質管理の徹底を図り、事業の効率化に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当期の業績は主に豆乳の販売が好調だったことにより、売上高160億89百万円（前期比4.4%増）、製造原価や経費の削減に努めたことにより、経常利益は6億52百万円（前期比59.5%増）、当期利益は2億23百万円（前期比146.5%増）と増収増益になりました。

当期の各部門別の売上高は、次のとおりであります。

部 門 別	第 51 期 （平成13年9月21日から 平成14年9月20日まで）		第 50 期 （平成12年9月21日から 平成13年9月20日まで）		対前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
みそ	5,983	37.2	6,137	39.8	△ 2.5
豆乳	4,984	31.0	3,675	23.9	35.6
飲料	4,153	25.8	4,608	29.9	△ 9.9
その他の	968	6.0	991	6.4	△ 2.4
合計	16,089	100.0	15,413	100.0	4.4

① みそ事業

業界全体としてみその出荷量は引き続き減少傾向にある中、積極的な営業活動を行ってまいりましたが、売上高は5,983百万円（前期比2.5%減）となりました。

<生みそ>

好評を博している「味の饗宴」「本場赤だし」は順調な伸びを示しましたが、主力銘柄であり、ロングセラーでもある「赤だし」「ミックス」の出荷量が伸び悩んだため、当期における出荷数量は27,802トン（前期比1.0%減）、売上高につきましては、4,687百万円（前期比1.4%減）となりました。

新製品といたしましては、じっくりと低温熟成させた「香糀」（かおりこうじ）、大豆イソフラボンの多い淡色豆みそで特許出願中の「まるごと大豆みそ」、原料を吟味して醸造したこだわりのみそ「国産原料100%無添加生みそ」を発売いたしました。

<即席みそ>

即席みそ市場全体が漸減傾向であり、また、消費者のニーズが徳用の多食タイプに移行したことにより、売上高につきましては、611百万円（前期比11.0%減）となりました。

新製品といたしましては、「組み合わせいろいろ10食」、「山の幸みそ汁」、業界で初めての即席フリーズドライ多食みそ「おわんにポン!!」を発売いたしました。

<調理みそ>

昨年発売の鍋シリーズが好評だったものの、既存品のパウチタイプやチュープタイプが伸び悩んだため、売上高につきましては、684百万円（前期比1.7%減）となりました。

新製品といたしましては、「レタスで韓国風サラダピリカラコチュジャン味」、「レタスで韓国風サラダあっさり塩味」、「今夜は炒めタッカルビ」、「今夜は炒めジャンパオジー」を発売いたしました。

② 豆乳飲料事業

当期におきましては売上高9,137百万円（前期比10.3%増）と引き続き好調に推移しております。

<豆乳>

健康志向の高まりで大豆の良さが見直されたことや、BSE問題等の影響で牛乳から豆乳へ需要が一部シフトしたことなどにより、市場全体の拡大が続いております。特に1リットルサイズの製品の出荷が順調で、出荷数量は、30,901キロリットル（前期比40.4%増）、売上高につきましても4,984百万円（前期比35.6%増）と引き続き好調に推移しております。

昨年9月に発売いたしました「豆腐ができる濃い豆乳」が予想を上回る出荷となり、お客様からも「大変おいしい」との評価を頂いております。なお、今年2月には、豆乳業界では初めての有機JASの認定工場となり、3月に「有機豆乳無調整」を発売いたしました。その他「豆乳飲料野菜とフルーツ」、「豆乳飲料オレンジヨーグルト味」を発売いたしました。

<飲料>

飲料類につきましては、豆乳の生産が増加したことによる影響で、減産を余儀なくされており、当期における飲料の出荷数量は30,479キロリットル（前期比10.9%減）、売上高につきましては4,153百万円（前期比9.9%減）となりました。

新製品といたしましては、「うめ&ミネラル」を発売いたしました。

③ その他事業

その他事業の内訳といたしましては、その他製品の売上高568百万円（前期比2.5%減）、他社商品の売上高399百万円（前期比2.2%減）となっております。

2. 設備投資の状況

当期は、総額477百万円の設備投資を実施いたしました。

事業別の投資額は、みそ事業で39百万円、豆乳飲料事業で435百万円、その他事業で3百万円となっております。

主な内容は、みそ工場では、仕込工場老朽化に伴う改修工事、豆乳飲料工場では豆乳増産のための生産設備の増設、その他では、研究施設の増設工事等を実施いたしました。

3. 資金調達の状況

平成14年6月12日に株式会社百五銀行他3行によるシンジケートローンにより10億円を調達いたしました。また、平成13年9月25日に、第5回無担保社債4億円（利率年0.84%、償還期日 平成18年9月25日）と、第6回無担保社債4億円（利率年1.25%、償還期日 平成20年9月25日）を発行いたしました。

4. 当社が対処すべき課題

今後の経済情勢につきましては、企業業績や個人消費が低迷し、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

食品業界におきましては、産地偽装事件等により失った信頼を回復すべく、品質や安全に対する管理がより強く求められております。

今後も引き続き環境面、品質、安全、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心のできる製品づくりを目指していく所存であります。

みそ事業に関しましては、業界大手メーカーの経営破たんや中小メーカーの相次ぐ廃業などで寡占化が進む傾向にあり、また、ここ数年来みその需要が伸び悩んでいるため依然大変厳しい状況であり、今後は、「みそ＝みそ汁」にこだわらず、新たな需要の開拓に努めてまいります。

豆乳事業に関しましては、今後多くの新規参入企業が増えて市場拡大が見込まれる中、当社といたしましては、独自性をより明確にしてまいります。飲む豆乳から食べる豆乳の充実及びレシピの提案に力を入れていきたいと思います。

なお、流通の合理化による経営の効率化を図るため、平成14年9月21日付にて100%子会社のマルサン商事株式会社を合併いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

5. 営業成績及び財産の状況の推移

	第48期 (平成10年9月21日から 平成11年9月20日まで)	第49期 (平成11年9月21日から 平成12年9月20日まで)	第50期 (平成12年9月21日から 平成13年9月20日まで)	第51期 (平成13年9月21日から 平成14年9月20日まで)
売上高(百万円)	14,230	14,733	15,413	16,089
営業利益(百万円)	602	506	565	845
経常利益(百万円)	456	323	408	652
当期利益(百万円)	62	123	90	223
1株当たり当期利益	6円34銭	12円46銭	8円87銭	21円12銭
総資産(百万円)	13,814	13,995	14,507	15,042
純資産(百万円)	1,493	1,588	1,697	1,869

(注) 1. 1株当たり当期利益は期中平均発行済株式総数（当期より、自己株式数を控除した株式総数）に基づき算出しております。

2. 第50期における純資産の増加は主に上場時における公募増資によるものであります。

单体貸借対照表

(单位:千円)

(注) 1 子会社に対する金銭債権・債務

(当期)

(前 期)

1. 于会社に対する金銭債権・債務

24 206千円

31 322 千巴

期權
債務

298,200千円
133,959千円

695,000 千円
109,276 千円

2. 担保に供されている資産

133,939 | □

109,270 | □

2. 担保に供されるる資産 預 金

765,458千円

915,445千円

二、
資產

519,713千円

,650,127千円

3 俾發債務投資有価証券

150,118千円

24,659千円

(単位：千円)

科 目	期 別	第 51 期 (平成14年9月20日現在)	第 50 期 (平成13年9月20日現在)
	負 債 の 部		
流 動 負 債		6,397,332	7,969,592
支 払 手 形		977,714	1,140,322
買 掛 金		878,326	798,690
短 期 借 入 金		131,000	804,000
1 年 以 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金		2,140,522	3,162,024
1 年 以 内 償 返 予 定 社 債		—	100,000
未 払 金		1,036,205	851,634
未 払 法 人 税 等 等		269,470	62,359
未 扦 消 費 税 等 等		75,036	50,628
未 扦 費 用		187,220	162,513
賞 与 引 当 金		306,423	357,000
設 備 支 払 手 形		376,765	461,257
そ の 他 の 流 動 負 債		18,646	19,162
固 定 負 債		6,775,537	4,840,463
社 会 債		1,200,000	400,000
長 期 借 入 金		4,383,170	3,355,412
退 職 給 付 引 当 金		697,667	497,468
役 員 退 職 慰 劳 引 当 金		289,553	289,983
長 期 設 備 支 払 手 形		22,683	56,619
預 り 保 証 金		66,366	133,820
債 務 保 証 損 失 引 当 金		33,000	—
そ の 他 の 固 定 負 債		83,096	107,159
負 債 の 部 合 計		13,172,869	12,810,055
資 本 の 部			
資 法 定 準 備 金		562,144	562,144
資 本 準 備 金		420,240	412,304
利 益 準 備 金		309,020	309,020
剰 余 金		111,220	103,284
任 意 積 立 金		890,233	754,085
別 途 積 立 金		435,000	435,000
当 期 未 処 分 利 益		435,000	435,000
(う ち 当 期 利 益)		455,233	319,085
評 価 差 額 金		(223,438)	(90,659)
△	△	1,401	31,097
そ の 他 有 値 証 券 評 価 差 額 金		△	31,097
自 己 株 式		△	—
資 本 の 部 合 計		1,869,971	1,697,436
負 債 及 び 資 本 の 部 合 計		15,042,841	14,507,492

(当 期)

(前 期)

4. 主な外貨建資産・負債

現金及び預金	25,388千円(208千米ドル)	30,828千円(262千米ドル)
受 取 手 形	一千円(一千米ドル)	2,168千円(18千米ドル)
売 掛 金	一千円(一千米ドル)	1,513千円(12千米ドル)
未 収 入 金	15,174千円(124千米ドル)	12,411千円(105千米ドル)
立 替 金	1,828千円(15千米ドル)	一千円(一千米ドル)
投 資 有 値 証 券	21,067千円(149千米ドル)	21,067千円(149千米ドル)

5. 主なリース資産

貸借対照表に記載した固定資産の他、飲料用充填機2台、車両116台、フォークリフト10台、OA機器一式他についてはリース契約により使用しております。

6. 有形固定資産の減価償却累計額

7,879,902千円

7,545,641千円

7. 1株当たり当期利益

21円12銭

8円87銭

単体損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		第 51 期 (平成13年9月21日から) (平成14年9月20日まで)	第 50 期 (平成12年9月21日から) (平成13年9月20日まで)
(経 常 損 益 の 部)				
営 業 損 益 の 部				
営 業 収 益				
売 上 高	16,089,489	16,089,489	15,413,277	15,413,277
営 業 費 用				
売 上 原 価	10,789,838		10,366,909	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,454,458	15,244,297	4,481,017	14,847,926
営 業 利 益		845,192		565,350
営 業 外 損 益 の 部				
営 業 外 収 益				
受 取 利 息 配 当 金	17,132		57,458	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	108,432	125,565	95,026	152,484
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	224,283		221,429	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	94,344	318,628	87,531	308,960
経 常 利 益		652,129		408,875
(特 别 損 益 の 部)				
特 别 利 益				
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	4,223	4,223	83,422	83,422
特 別 損 失				
固 定 資 産 除 却 損	26,082		7,048	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	68,021		6,834	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	—		6,508	
退 職 給 付 会 計 基 準 変 更 時 差 異 償 却 額	119,909		119,909	
過 年 度 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	—		51,437	
金 利 デ リ バ テ ィ ブ 評 価 損	—	214,014	128,599	320,338
税 引 前 当 期 利 益		442,338		171,959
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		366,000		197,000
法 人 税 等 調 整 額		△ 147,100		△ 115,700
当 期 利 益		223,438		90,659
前 期 繰 越 利 益		231,794		228,426
当 期 未 処 分 利 益		455,233		319,085

(当 期)

(前 期)

(注) 子会社との取引高

売 上 高	4,630千円	100千円
仕 入 高	210,121千円	281,387千円
営 業 費 用	1,145,086千円	1,072,758千円
営業取引以外の取引高	40,678千円	46,426千円

注記事項

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法を採用しております。

その他有価証券

時価のあるもの…決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの…移動平均法による原価法を採用しております。

(2) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・製品・原材料・仕掛品…総平均法による原価法によっております。

貯蔵品…最終仕入原価法によっております。

(4) 有形固定資産の減価償却の方法

定率法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

(5) 無形固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見積利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(6) 繰延資産の処理方法

社債発行費…支出時に全額費用として処理しております。

(7) 引当金の計上基準

貸倒引当金…債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

子会社投資損失引当金…子会社への投資に対する損失に備えるため、その資産内容等を検討して計上しております。

賞与引当金…従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、会計基準変更時差異（599,549千円）については、5年による均等額を費用処理しております。数理計算上の差異は、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、それぞ

れ発生の翌期から費用処理することにしております。

役員退職慰労引当金…役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員規程に定める退職慰労金に係る規定に基づく期末要支給額を引当計上したものであり、商法第287条ノ2に規定する引当金であります。

債務保証損失引当金…債務保証等による損失に備えるため、被保証先の財政状態等を勘案して損失負担見込額を計上したものであり、商法第287条ノ2に規定する引当金であります。

(8) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(9) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法…特例処理の条件を満たしている金利スワップについては特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…金利スワップ

ヘッジ対象…借入金

ヘッジ方針…金利変動リスクの低減並びに金融収支改善のために行っております。

(10) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理によっております。

(追加情報)

前期まで流動資産に掲記しておりました「自己株式」は、株式会社の貸借対照表、損益計算書、営業報告書及び附属明細書に関する規則の改正により当期より資本に対する控除項目として資本の部の末尾に表示しております。

なお、前期は「その他の流動資産」に含まれており、その金額は53千円であります。

利益処分

(単位：円)

科 目	金額
当期未処分利益	455,233,037
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき普通配当5円、記念配当1円50銭、合計1株につき6円50銭)	68,756,350
取締役賞与金	4,680,000
監査役賞与金	320,000
次期繰越し利益	381,476,687

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当連結会計年度 (平成14年9月20日現在)	前連結会計年度 (平成13年9月20日現在)
	資 产 の 部		
流 動 資 産		8,160,650	7,482,157
現 金 及 び 預 金		2,701,916	2,190,900
受 取 手 形 及 び 売 掛 金		3,927,953	3,779,445
た な 卸 資 産		1,059,571	1,057,730
繰 延 税 金 資 産		249,332	238,409
そ の 他		223,838	221,605
貸 倒 引 当 金	△	1,961	5,934
固 定 資 産		7,582,164	7,437,090
有 形 固 定 資 産		6,078,278	6,172,841
建 物 及 び 構 築 物		1,596,554	1,659,348
機 械 装 置 及 び 運 搬 具		1,777,161	1,883,221
土 地		2,592,927	2,592,927
建 設 仮 勘 定		70,331	—
そ の 他		41,304	37,344
無 形 固 定 資 産		29,788	29,811
投 資 そ の 他 の 資 産		1,474,096	1,234,437
投 資 有 價 証 券		799,285	586,306
長 期 貸 付 金		765	—
繰 延 税 金 資 産		439,807	330,235
そ の 他		236,089	319,972
貸 倒 引 当 金	△	1,850	2,077
資 产 の 部 合 計		15,742,814	14,919,247

(単位：千円)

科 目	期 別	当連結会計年度 (平成14年9月20日現在)	前連結会計年度 (平成13年9月20日現在)
	負 債 の 部		
流 動 負 債		6,655,255	8,261,367
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		1,952,970	2,094,809
短 期 借 入 金		2,352,051	4,003,522
1 年 以 内 償 還 予 定 社 債		—	100,000
未 払 法 人 税 等		285,227	84,619
賞 与 引 当 金		329,522	388,500
未 払 金		1,137,819	927,528
そ の 他		597,665	662,387
固 定 負 債		7,108,603	4,965,655
社 債		1,200,000	400,000
長 期 借 入 金		4,711,040	3,431,907
退 職 給 付 引 当 金		726,463	522,701
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		298,953	313,448
そ の 他		172,146	297,599
負 債 の 部 合 計		13,763,859	13,227,023
資 本 の 部			
資 本 金		562,144	562,144
資 本 準 備 金		309,020	309,020
連 結 剰 余 金		1,104,302	879,438
その他の有価証券評価差額金	△	1,612	30,561
為替換算調整勘定		6,346	27,763
自 己 株 式	△	1,244	53
資 本 の 部 合 計		1,978,955	1,692,224
負債及び資本の部合計		15,742,814	14,919,247

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当連結会計年度 (平成13年9月21日から) (平成14年9月20日まで)	前連結会計年度 (平成12年9月21日から) (平成13年9月20日まで)
売 上 高		16,996,014	16,389,367
売 上 原 価		11,392,367	10,991,855
販売費及び一般管理費		4,626,912	4,677,211
営 業 利 益		976,733	720,301
営 業 外 収 益		119,712	136,815
受 取 利 息		3,558	6,666
持 分 法 に よ る 投 資 利 益		30,390	66,786
技 術 指 導 料 収 入		35,490	52,381
金 利 デ リ バ テ ィ ブ 評 價 益		24,062	—
そ の 他		26,210	10,979
営 業 外 費 用		333,949	317,212
支 払 利 息		233,687	225,451
そ の 他		100,261	91,761
経 常 利 益		762,496	539,904
特 別 利 益		3,945	7,161
貸 倒 引 当 金 戻 入 益		3,945	7,161
特 別 損 失		220,816	343,167
固 定 資 産 除 却 損		26,082	7,048
投 資 有 價 証 券 評 價 損		68,021	6,834
ゴ ル フ 会 員 権 評 價 損		—	6,508
退 職 給 付 会 計 基 準 変 更 時 差 異 債 却 額		126,712	126,712
過 年 度 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額		—	67,463
金 利 デ リ バ テ ィ ブ 評 價 損		—	128,599
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		545,625	203,898
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		382,300	222,706
法 人 税 等 調 整 額	△	140,894	△ 161,194
当 期 純 利 益		304,219	142,386

連結剰余金計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当連結会計年度 (平成13年9月21日から) (平成14年9月20日まで)	前連結会計年度 (平成12年9月21日から) (平成13年9月20日まで)
連 結 剰 余 金 期 首 残 高	879,438	786,776
連 結 剰 余 金 増 加 高	—	—
連 結 剰 余 金 減 少 高	79,355	49,724
配 当 金	79,355	49,724
当 期 純 利 益	304,219	142,386
連 結 剰 余 金 期 末 残 高	1,104,302	879,438

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当連結会計年度 (平成13年9月21日から) (平成14年9月20日まで)	前連結会計年度 (平成12年9月21日から) (平成13年9月20日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	913,712	766,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 650,067	△ 861,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	284,101	76,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	258	△ 4,086
現金及び現金同等物の増減額	548,004	△ 22,613
現金及び現金同等物の期首残高	445,954	468,567
現金及び現金同等物の期末残高	993,958	445,954

マルサングループの概況 (平成14年12月17日現在)

当社グループは、当社（マルサンアイ株式会社）と連結子会社1社（株式会社匠美）及び持分法適用関連会社1社（アメリカン・ソイ・プロダクツINC.）により構成されており、みそ及び豆乳・飲料の製造販売を主な事業の内容としております。

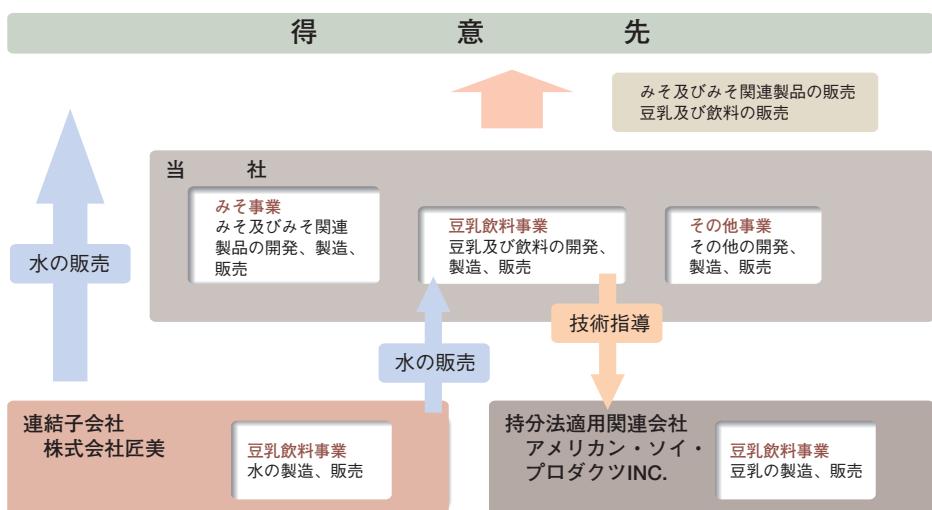
当社グループの事業に係わる位置付け及び事業の種類別セグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、事業の種類別セグメントと同一の区分であります。

内 容	主 な 事 業 内 容	主 な 会 社
みそ事業	みそ及びみそ関連製品の開発、製造、販売 中分類として、みそ（生みそ）、即席みそ、調理みそ	当社
豆乳飲料事業	豆乳及び飲料の開発、製造、販売 中分類として、豆乳（OEM含む）、飲料（OEM含む）、水	当社 株式会社匠美 アメリカン・ソイ・プロダクツINC.
その他の事業	その他の開発、製造、販売 中分類として、その他食品、他社商品	当社

事業の系統図は、次のとおりであります。

[事業系統図]



会社の概況 (平成14年9月20日現在)

- 商 号 マルサンアイ株式会社
(英訳名: MARUSAN-AI CO., LTD.)
- 設 立 昭和27年3月7日
- 主要な事業内容 大豆を主原料とするみそ、豆乳、無菌充填技術を生かした飲料類、その他食品の製造販売。
- 資 本 金 562,144,000円
- 従業員の状況

	従業員数	対前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 性	278名	+5名	39歳 8ヶ月	15年 10ヶ月
女 性	71	-1	36 9	11 4
合計または平均	349	+4	39 2	14 11

(注) 従業員数には、出向社員4名、嘱託21名、パートタイマー34名は含まれておりません。

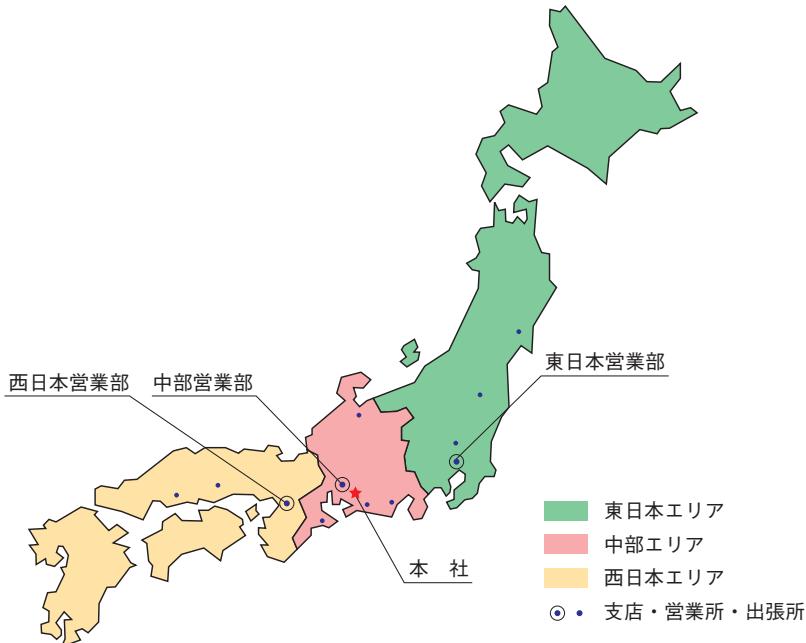
- 会計監査人 中央青山監査法人
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル32階

- 役 員 (平成14年12月17日現在)

代表取締役社長		下 村 銀 爾
常務取締役	工場戦略・American Soy Products Inc担当	岩 月 博 保
常務取締役	営業戦略・原料担当	彦 坂 忠 昭
常務取締役	商品戦略・ISO担当	河 合 直 樹
取締役	開発本部長	小 川 健 脩
取締役	営業本部長	鍋 田 紘 一 郎
取締役	生産本部長	青 木 春 雄
取締役	管理本部長(兼)経理財務部長	鈴 木 擶 司
常勤監査役		村 松 茂 雄
監査役		畠 部 泰 則
監査役		新 井 一 弘

事業所 (平成14年12月17日現在)

● マルサンアイ営業ネットワーク



本社／工場 愛知県岡崎市仁木町字荒下 1 番地
大門工場 愛知県岡崎市大門 4 丁目 1 番地 11
東京支店 東京都世田谷区千歳台 4 丁目 6 番地 5
仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区高砂 1 丁目 302 番地 1
宇都宮営業所 栃木県宇都宮市城南 2 丁目 8 番地 11
サンライズ城南
熊谷営業所 埼玉県熊谷市肥塚 1187 番地 1
名古屋総括支店 愛知県愛知郡長久手町蟹原 911 番地
(子会社・関連会社)
株式会社匠美 富山県中新川郡立山町東大森 289- 2

北陸出張所 富山県中新川郡立山町東大森 289- 2
静岡支店 静岡県静岡市宮竹 1 丁目 15 番 10 号
オフィスプレステージ 2 階 D 号
三河支店 愛知県豊川市三蔵子町橋本 16 番地 1
三重支店 三重県津市雲出本郷町 485 番地
大阪支店 大阪府茨木市舟木町 19 番 3 号
岡山営業所 岡山県岡山市岡町 1 丁目 6 番地
広島営業所 広島県広島市安佐南区祇園町 4 丁目 8 番地 2
アメリカン・ソイ・プロダクツ INC. (米国) 米国ミシガン州



本社・工場



株式会社匠美



アメリカン・ソイ・プロダクツ INC.

主要製品



純正こうじみそ



高級赤だしみそ懷石



だし入りミックスみそ



だし入り高級赤だしみそ



カップ　だし入りあわせみそ



カップ　だし入り赤だしみそ



カップ　だし入りこうじみそ



カップ　味の饗宴無添加生みそ



即席10食　みそ汁赤だし



即席10食　みそ汁あわせ



パウチ田楽みそ



カンタンお料理みそ



有機豆乳無調整



調製豆乳



麦芽豆乳



抹茶豆乳

新製品のご紹介 (平成14年9月1日発売)

●まるごと大豆みそ



430円／荷姿 カップ 500g×8

「大豆・塩」で作った淡色豆みそです。

当社米みそと比較して、おいしさはそのままにイソフラボン（アグリコン）量は約2倍含まれます。

「焼津産かつお節・日高産昆布」を使用した、天然だし100%のだし入りみそです。

●国産原料100% 無添加生 赤だし

430円／荷姿 カップ 500g×8

国産原料100%「国産大豆・国産米・国産塩」使用。

無添加生みそ。

三州味噌～愛知の産地みそ～

豆みそのコクと旨味にこだわり、原料を吟味してじっくり熟成させたこだわりの赤だしみそです。



●国産原料100% 無添加生 あわせ



430円／荷姿 カップ 500g×8

国産原料100%「国産大豆・国産米・国産塩」使用。

無添加生みそ。

三州味噌～愛知の産地みそ～

米みそに豆みそをブレンドした、深いコクと旨味のあるあわせみそです。

●即席本場赤だし

200円／荷姿 紙ピロー 2食×10×4

豆みそのコクと旨味を生かした風味豊かなおみそ汁を、手軽に味わっていただけます。

赤だしに良く合う具を厳選しました。「なめこ汁（なめこと豆腐と三つ葉）」「しじみ汁（しじみとねぎ）」との2つの味が楽しめるアソートタイプの商品です。

なめこは長野県産の生なめこをブロック状にフリーズドライ（凍結乾燥）した具材を使用しているので、素材本来の風味と食感が味わえます。しじみはレトルトタイプを使用しています。



●おわんにポン!! 赤だし

300円／荷姿 チャック付きピロー 7食×6×4

1ブロックで1人分のおみそ汁ができます。

フリーズドライ製法なので、品質の劣化が少なく長期間おいしさが保たれます。作る時にみそを絞る手間が省け、手が汚れません。

フリーズドライタイプなので熱湯を注いだ時にお湯の温度の低減が抑えられ、あつあつの状態のおみそ汁が食べられます。





●おわんにポン!! あわせ

300円／荷姿 チャック付きピロー 7食×6×4

1ブロックで1人分のおみそ汁ができます。

フリーズドライ製法なので、品質の劣化が少なく長期間おいしさが保たれます。作る時にみそを絞る手間が省け、手が汚れません。

フリーズドライタイプなので熱湯を注いだ時にお湯の温度の低減が抑えられ、あつあつの状態のおみそ汁が食べられます。

●おわんにポン!! こうじ

300円／荷姿 チャック付きピロー 7食×6×4

1ブロックで1人分のおみそ汁ができます。

フリーズドライ製法なので、品質の劣化が少なく長期間おいしさが保たれます。作る時にみそを絞る手間が省け、手が汚れません。

フリーズドライタイプなので熱湯を注いだ時にお湯の温度の低減が抑えられ、あつあつの状態のおみそ汁が食べられます。



●たっぷり寄せ鍋スープ

300円／荷姿 アルミスタンディングパウチ 700g×12

具材を入れて煮込むだけ。誰でもおいしく作れるストレートタイプの鍋つゆです。雑炊にも便利なたっぷりサイズ700gです。

名古屋コーチンガラスープ使用。はまぐりだしとガラのエキスでコクと旨味を一段と高めました。

●たっぷりかき鍋スープ

300円／荷姿 アルミスタンディングパウチ 700g×12

具材を入れて煮込むだけ。誰でもおいしく作れるストレートタイプの鍋つゆです。雑炊にも便利なたっぷりサイズ700gです。

米みそと豆みそのこだわりあわせみそ仕立てで、だしの旨味をきかせた味が自慢のスープです。



●野菜でグラタン ホワイトソース味

140円／荷姿 レトルトスタンディングパウチ 120g×10×2

野菜を切りソースをかけて焼くだけで、手軽にヘルシーな野菜のグラタンができるあります。

豆乳で仕上げてあるため、さっぱりとしたおいしさです。

1袋1人前で、便利な使いきりタイプです。

豆乳で作ったレトルトタイプのホワイトソース味のグラタンソースです。マッシュルームのスライス入り。

●野菜でグラタン コーンクリーム味

140円／荷姿 レトルトスタンディングパウチ 120g×10×2

野菜を切りソースをかけて焼くだけで、手軽にヘルシーな野菜のグラタンができるあります。

豆乳で仕上げてあるため、さっぱりとしたおいしさです。

1袋1人前で、便利な使いきりタイプです。

北海道産スイートコーンと豆乳で作った、レトルトタイプのコーンクリーム味のグラタンソースです。粒コーン入り。



トピックス

- 平成13年12月 ● **名証上場記念配の実施をいたしました。**
上場記念配 2円50銭を含む合計1株につき7円50銭
- 平成14年1月 ● **ホームページをリニューアルいたしました。**
キャッチフレーズ「豆new生活はじまる」

- 平成14年1月 ● **新しいCMキャラクターにMELODY（メロディー）起用。**
ハワイ出身の20歳です。

- 平成14年2月 ● **当社豆乳飲料工場が「有機農産物加工食品製造業者」の認定を受けました。**
より健康的で自然な無調整タイプの豆乳がヘルピューザーを中心に伸びています。
さらに安心感・安全感アップのため、有機JAS認定を受け「有機豆乳無調整」を発売いたしました。

- 平成14年2月 ● **IRセミナーを開催いたしました。**
名古屋松阪屋ホールにて開催。
460名ほどの熱心な一般投資家を迎えて盛況に取り行われました。

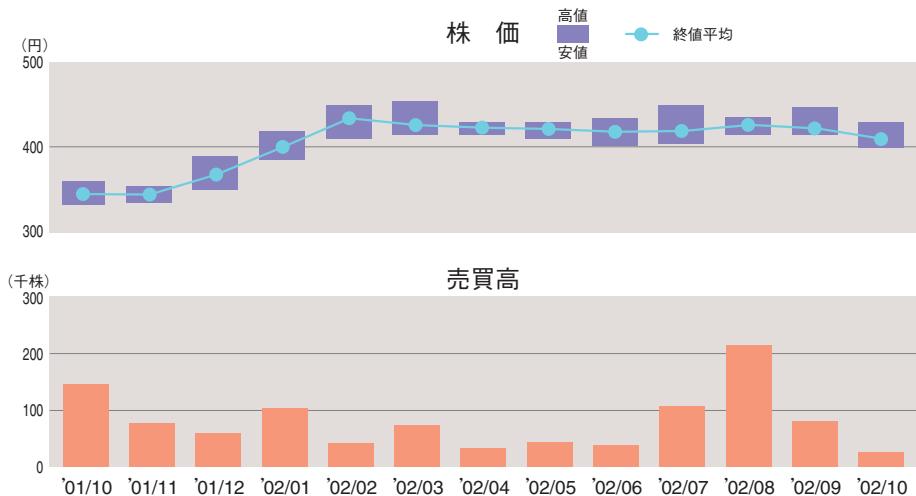

- 平成14年3月**
- 「マルサン俱乐部」スタート
「マルサンふれあい広場」「マルサンおすすめレシピ」「Q&Aのページ」「キャンペーン!!」など盛りだくさんです。
当社HP (<http://www.marusanai.co.jp/>)
より会員登録（無料）できます。
- 
- 平成14年6月**
- UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケートローンを実施いたしました。
株式会社百五銀行他3行から10億円を調達いたしました。
- 平成14年7月**
- 名証IRエキスポ2002に出展
名証IRエキスポは、名古屋証券取引所の上場企業が一堂に会して、投資家の皆様に情報発信をする「投資家と上場企業をつなぐ」イベントです。
- 
- 平成14年8月**
- 日経健康セミナー21を開催いたしました（当社協賛）
テーマは「大豆が明日のあなたにできること～大豆イソフラボンと女性の健康～」で、約500名のお客様が熱心にメモを取りながら、講演とパネルディスカッションに聞き入っていました。
- 
- 平成14年9月**
- 当社100%子会社のマルサン商事株式会社を吸収合併。
流通の合理化による経営の効率化を図るため、平成14年9月21日に実施いたしました。

株式の状況

- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 10,580,880株
- 株 主 数 779名 (前期末比 49名増)
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率	持 株 数	持 株 比 率
株 式 会 社 佐 藤 産 業	1,525,300 株	14.42 %	—	—
マルサン アイ従業員持株会	1,484,900	14.03	—	—
佐 藤 公 信	695,420	6.57	—	—
中 島 典 子	426,830	4.03	—	—
福 島 裕 子	426,830	4.03	—	—
佐 藤 不 二 子	416,300	3.93	—	—
石 田 ち ゅ	255,280	2.41	—	—
下 村 釧 爾	252,180	2.38	—	—
杉 浦 義 基	177,260	1.68	—	—
株 式 会 社 U F J 銀 行	170,000	1.61	—	—

●株価等の推移



株主メモ

決 算 期	毎年9月20日
定時株主総会	毎年12月
利益配当金受領 株主確定日	9月20日 なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、3月20日であります。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部（証券コード：2551）
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄二丁目3番6号（☎460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 ☎(052)231-1145
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の 買取請求場所	名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所 (株式会社証券保管振替機構に預託されている単元未満株式については、 お取引の証券会社等にお申し出下さい。)

《お知らせ》
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

• 株主優待のお知らせ •

毎年9月20日及び3月20日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、当社製品（定価3,000円相当）を毎年12月及び6月に贈呈いたします。



『しあわせ株式会社』をめざして

大豆のよさを広くお客様に知っていただくために『おいしさ』を追い求め、『健康』で『楽しい』生活の応援ができることがわが社の喜びである。そのため、安全で安心できる食品を提供し、数ある製品の中からわが社の製品を選んでいただけるものをたくさん提供する事で適正な利潤を得て株主への還元、社員の満足度の向上、社会への貢献ができる企業となる。即ち、私達が志をひとつにして全員でめざしているのが『しあわせ株式会社』づくりである。

● ホームページ ●

<http://www.marusanai.co.jp/>



マルサンアイ株式会社

本社／〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地
TEL (0564) 27-3700 FAX (0564) 27-3714